なぜ、山門に四天王がいるのか

令和八年八月二十七日　加茂法話会

永平寺の山門には・・・陸老とは、名誉や地位のある人。善財童子

右聯　家庭厳峻不容陸老従真門入（かていげんしゅんりくろうのしんもんよりいるをゆるさず）

左聯　鎖鑰放閑遮莫善財進一歩来（さやくほうかん、さもあらばあれぜんざいのいっぽをすすめくるに）

この道場の規律はきわめて厳しく、世間的な名誉や地位があっても、真に仏道を求める心がなければ入ることは許されない。善財童子のような求道心がある者なら、一歩進んで来なさい。

善財童子が五十三人の善知識を歴訪して求道を深めます。これがいわゆる東海道五十三次の説。

霊鷲山と須彌山の関係

霊鷲山　　歴史的聖地　　釈尊の説法の場

須彌山　　宇宙の中心　　仏教世界の軸

須彌山は、仏教宇宙論でいう世界の中心の山です。須彌壇は、その須彌山をかたどって、本尊を安置するために設ける壇です。つまり、宇宙の中心山を仏堂内に象徴化したもの。

山腹　四大王天　　四天王が住む

山頂　忉利天　　帝釈天の世界

四大王天は須彌山の中腹にあり、東西南北を守る持国天、増長天、広目天、多聞天が住みます。忉利天は須彌山の頂上にあり、帝釈天を主とする三十三天の世界です。

山門と三門の違い・・・山門・寺の境内に入る門　　三門・禅宗寺院の正式呼称

三門は仏教でいう三つの解脱に結びつけて説明される

三解脱門の三つは、「心の縛りをゆるめていくので、解脱への門と呼ばれます。」

空門（固定不変な実体はない）、自分の考えや立場も絶対ではないと気づかせる見方

無相門（決めつける印がない）、見た目や名前や区別に振り回されず、その奥を見ること

無作門（求め執着する心を離す）、何かを強く求め続ける心を手放すこと

なぜ、お寺に山号があるのか

中国では寺が山中に建てられることが多く、その名残で寺に山の名前を付ける習慣が広まり、日本では平地にある寺でも、伝統や格式を表すために山号を付けるようになりました。

山号は、寺の由来や格式を示す伝統的な名前です。

創建地の地名（地名や旧地名を使う）・周囲の山や自然（寺の近くの山名を使う）・仏教的な理想や願い・由緒や伝説（開山や創建伝説にちなむ）

山号が変わることはありますか？・・・永平寺は傘松峰から吉祥山に（宝治二年・一二四八年）

頻繁に変わるものではなく、改称、移転、宗派の変化、再興のような大きな節目で変わる事がある。

山号　　由緒や格式を示す名　「山号は中国で先に生まれ、日本では鎌倉時代ごろから広がった」

◎須彌壇でお釈迦様は法を説かれている。だから、お寺には山号があるのではないか

お寺の須彌壇を聖なる山を場とみる仏教的感覚が信仰に繋がる。

寺号　　寺院そのものの名・・・開山の意図や人物名にちなむこともあります。

正壽寺住職　呉　定明合掌